

目次

第 1 章	MyPortfolioって何?	03
	MyPortfolioの概要	04
	特別インタビュー	08
	早稲田大学総長 田中愛治氏	
	知っておきたい3つのコト	10
第 2 章	MyPortfolioのポイント	11
	いつでもどこでも簡単にログイン	12
	大学生活の情報を「コンテンツ」で一元管理	13
	「日誌」や「ワークシート」などで簡単に記録・振り返り	14
	「ポートフォリオページ」を簡単に作成・公開	15
	「ダイレクトリクルーティングサービス」と連携	16
第 3 章	MyPortfolioの基本ガイド	17
	ログインの方法	18
	各種設定の変更	19
	プロフィールの登録	20
	就活支援機能の活用	21
	履修科目一覧、課外活動履歴の自動取得	22
	日誌の記録・保存	23
	資料等のアップロード	26
	目標の設定	27
	ポートフォリオページの作成	28
	ポートフォリオページの公開	30
第 4 章	MyPortfolioの活用例	31
	授業の内容	32
	部活動・サークル活動	33
	留学の経験	34
	インターンシップ・アルバイト	35

第 1 章

MyPortfolioって何?

ウェブ上のシステムによって学生生活を記録し、振り返り、公開することで、
実りあるキャンパスライフを送ることができるでしょう。



MyPortfolioは、 学生生活を記録し、振り返り、 公開するためのシステムです

2017年10月、早稲田大学では「My Portfolio」を導入しました。学生生活における学びや気づきを日常的に「記録・蓄積」し、それらの「振り返り」を行って、学生生活の成果を学内外に「公開」することを支援するシステムで、オープンソースeポー

トフォリオ(Mahara)をカスタマイズして使用しています。

自分の軌跡に沿った学修記録・振り返りの反復習慣は、卒業後のキャリアにもきっと役立ちます。MyWasedaから、まずはログインしてみましょう。



MyPortfolioで 自分自身を 「見える化」



例えば4年前から今日までを振り返ったとき、どのように自分自身の思考が変わってきたか、どのような目標を立て、どのように達成してきたかを具体的に思い出し、説明することができるでしょうか。

MyPortfolioは、記録・蓄積、振り返り、公開を通して、自分自身の成長の過程を「見える化」するツール。課題を克服しながら学生生活をより充実させるための仕組みです。

学生生活の データベースを 「記録・蓄積」



校内のさまざまな電子システムと連携しているMyPortfolioには、履修科目や教育プログラムが自動で登録されます。あわせて、授業の内容やレポートなどの学修成果、サークルやアルバイトなど課外活動における学びや気づきも日常的に記録しておきましょう。

学生生活のデータベースをひとまとめにして作っておけば、早稲田大学での4年間を効率よく見返すことができるようになります。

「振り返る」ことで 未来が つながっていく



学生生活のデータベースは、自分が何を学び、何を考えて行動してきたかを客観的に示すファクト(事実)になります。

MyPortfolioに日々の記録が蓄積されてきたら、それらを振り返り、学修の成果や自身の変化などをじっくりと見つめ直してみよう。そこから新たな学修目標や、思ってもみなかった自分自身の姿が浮かび上がってくるかもしれません。

軌跡を「公開」して 外部へ アピール



記録や振り返りで見えてきた学修成果や成長の軌跡を、自由に編集して公開することができます。外部の人たちからのフィードバックを得られて新たな成長につながることもあれば、他者への力強いアピールに活用できることもあるでしょう。

振り返りにもとづいて作られた自分ならではの資料は、急ごしらえの自己分析や履歴書とは異なり、就職活動においても大きな力になるはずです。

学生生活を楽しく
有意義なものにするために、

MyPortfolioを 存分に活用してほしい

早稲田大学総長

田中愛治氏



私が皆さんと同じ本校の学生だった頃には現在のようにスマートフォンやPCといったデジタル機器は普及していませんから、学修の記録は全てアナログでした。もちろん、成績表も紙に手書きです。私は空手部で4年間・週6日で練習しましたが、例えば練習メニューや大会でどんな技で勝ったかなど、頭の中で記憶するのみでした。

早稲田大学卒業後は約10年半、米国に留学して大学院で学び、研究に励みました。帰国後に他大学の教員や学会の会長、審

議会の委員などを経験し、早稲田大学の総長になりましたが、自分の経歴や研究業績を後から思い出して作るというのは、実に大変な作業でした。いくら記憶力に自信があり自分や相手に誠実であっても、思い込みや失念はあるものです。正確さが求められるときに、記憶だけで記録がないと困ってしまいます。電話して調べてもらったり、取り寄せたりしたことがあります。今は便利なツールがあるので、学生にはぜひ工夫して使ってほしいと思います。

MyPortfolioは授業や研究をはじめ学生生活のあらゆることを記録し、振り返るためのシステムです。どんな学修活動をしたのかを記録し、それに関連する自分の考えや行動を書き留めておくことができます。その情報を取捨選択し、ポートフォリオを作成することで、学修や成長の記録を客観的に考える機会を得られます。共有機能を活用してフィードバックを得たり、先輩への参考資料とするのも良いでしょう。具体的には、留学の下調べをする際に経験者のポートフォリオ「帰国報告書」を読むことは、詳細で生きた情報を取得するのに役立っていると聞いています。

また、グループ学習や協働作業などでポートフォリオを共有し合うこともできます。例えばあるプロジェクトを立ち上げるときに、各自の興味関心や特技、経験などをシェアすれば、適材適所の担当決めなどがはかどって、ミーティングではより効果的に議論を深められるかもしれません。

何かに打ち込むことができるのが、 学生時代

早大生には、「自分はこれをやりきった」と思えることを一つは掴んでもらいたいです。早稲田は自由で多様な総合大学です。授業や研究はもちろん、課外活動や留学、ボランティア、インターンシップなど、さまざまな学修活動に打ち込める機会や環境を整えています。そしてぜひ、「たくましい知性」と「しなやかな感性」を養っていただきたいです。

「たくましい知性」とは、ひと言で言えば「自分の頭で考える」ということ。これからの世の中を生きる人たちは、いまだ人類の誰も答えを持っていないさまざまな問題に直面しなくてはなりません。そうしたときに、自分なりの仮説を立ててデータや事実などの根拠を示し、解決策を見出してくれる人が求められます。「しなやかな感性」とは、異なる文化や宗教、国籍、価値観などを持つ多様な人々とボーダレスで接することができる柔軟な感性です。

何をどのように学んでいくのか。どのような将来を描くのか。決して効率よくやるうとする必要はありません。スピードやボリュームがあってもそこに効果がないと、意味がありません。やり甲斐があると思えるものを見つけたら、失敗を恐れずにとことん追究してほしいと願っています。学生生活をより楽しく有意義なものにするための補助ツールとして、MyPortfolioをぜひ活用してみましょう。そして成長の軌跡を記録し、振り返ることを習慣化して、一生の財産にしてください。



田中愛治氏 1975年早稲田大学政治経済学部卒業。1985年オハイオ州立大学大学院修了、政治学博士(Ph.D.)。東洋英和女学院大学、青山学院大学、本学政治経済学術院教授などを経て2018年11月から現職。

知っておきたい3つのコト

情報の「記録・蓄積」「公開」が便利なMyPortfolio。
快適に使っていただく上で、知っておきたい3つのコトを紹介します。

1 個人情報の公開は慎重に

MyPortfolioの公開機能は、SNS同様の情報発信が可能です。インターネット上に大切な個人情報が発信されることについて意識し、適切な内容を心がけましょう。また後述する外部サイトとのデータ連携による情報発信も、自分自信の情報を発信する際は内容を吟味しましょう。

2 情報には著作権・肖像権がつきもの

情報を公開する際は、原則として自分自身で作成した著作物を公開しましょう。他人が作成した著作物を公開したい場合は、「引用」の条件を満たしているかチェックしてください。また自作であっても、他人がうつっている「写真や動画」は肖像権が発生しますので、許可を得ることが求められます。

3 研究内容には機密事項がたくさん

大学の研究室で行っている研究内容には、企業との共同研究や特許など「知的財産」に関わる機密事項が含まれている可能性があります。研究情報を公開したい場合は、ゼミや研究室内の指導教員に確認を取りましょう。

利用前にガイドラインも確認しましょう。 >>



第2章

MyPortfolioのポイント

いつでもどこでもログインできる利便性、情報の一元管理、ダイレクトリクルーティングサービスとの連携など、充実した機能を備えています。



POINT 1

いつでもどこでも簡単にログイン

MyPortfolioはウェブブラウザベースのシステムです。ノートPC、スマートフォン、タブレットなどマルチデバイス対応となっているため、ネットワーク環境があれば、キャンパス内だけではなく、自宅、外

出先のカフェ、通学中の電車内など、いつでもどこでも時間・場所を選ばずにログインして活用できます。ID・パスワードはWaseda IDと共通で、MyWasedaとシングルサインオンで利用できます。



POINT 2

大学生生活の情報を「コンテンツ」で一元管理

Course N@vi (LMS) など学内のさまざまな電子システムと連携しており、履修科目や、大学公認の留学・ボランティアなどの課外活動の情報が自動で登録されます。インターンやアルバイト、資格取得といっ

た学外での活動さえ自分で登録すれば、学内・学外を問わずデータを「コンテンツ」に集約することが可能です。「日誌」などの機能とあわせれば、大学生生活を一括して俯瞰することができます。

POINT 3 「日誌」や「ワークシート」などで簡単に記録・振り返り

例えばブログの感覚で記録の蓄積ができる「日誌」機能や、レポートや資料画像などを貯めておく「ファイル」などで、簡単に日々の記録をまとめることができます。

また、履修科目や課外活動の履歴と連携させることも可能です。そのほか「ワークシート」に沿って効率的に記録の振り返りができるのも特徴です。



POINT 4 「ポートフォリオページ」を簡単に作成・公開

「プロフィール」「日誌」「ファイル」「履修科目」「課外活動履歴」といった「コンテンツ」に蓄積した情報から任意に取捨選択するだけで、学修や成長の軌跡をまとめた「ポートフォリオページ」を簡単に作成でき

ます。レイアウトを多数揃え、自分でカスタマイズも可能。軌跡を振り返りながらポートフォリオページを作成しましょう。大学生活の成果として外部に公開してアピールすることもできます。

POINT 5 「ダイレクトリクルーティングサービス」と連携

MyPortfolioは学生時代の成長のファクトを丸ごと蓄積したデータベースです。この特性を活かし、就職活動支援としてダイレクトリクルーティングサービスとの連携機能を組み込みました。

ダイレクトリクルーティングサービスで

は企業からアプローチを受け、対話によってお互いのマッチングを図っていきます。「コンテンツ」に登録したプロフィール情報から企業向けに表示したい内容を選択して同期することができます。



第3章

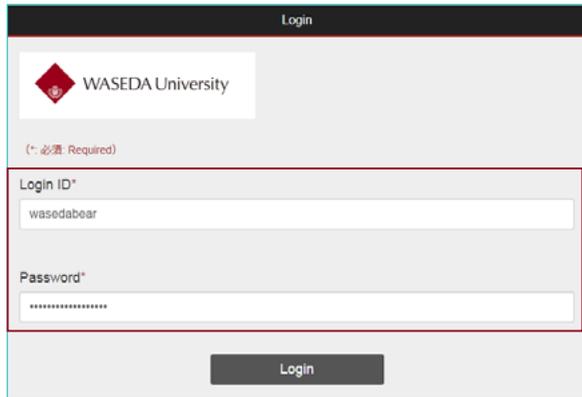
MyPortfolioの基本ガイド

ログイン方法に始まり、プロフィール登録、就活支援機能の活用、日誌の記録、ポートフォリオページの作成・公開に至るまで、実際の画面に沿った実践形式の内容となっています。



How to Log In

ログインの方法



① MyWaseda (https://my.waseda.jp/)にログインします。

Waseda IDとパスワードを入力してログイン



② 学生生活>サービスメニュー>学修ポートフォリオ>MyPortfolioをクリックすると、MyPortfolioのトップページに移動します。



③ MyPortfolioは「ダッシュボード」「コンテンツ」「ポートフォリオ」「グループ」から構成されており、「ダッシュボード」が表示されています。

ワンポイント

MYPortfolio

バナーからクリックし、MyPortfolioにアクセスすることもできます。

Modify Your Settings

各種設定の変更



① 上部右側の「設定」をクリックします。

設定をクリック



② 設定画面ではエディタやメール、言語選択などの設定が可能です。

各種設定が可能

ワンポイント



クリック

ダッシュボード画面の「ダッシュボードを編集する」をクリックすると、レイアウトや表示したいコンテンツを選択することができます。

Registering Your Profile

プロフィールの登録



プロフィールをクリック

① コンテンツタブの一覧から「プロフィール」をクリックすると、プロフィールの入力画面が現れます。



グレーアウト部分はデータを自動取得

② 基本情報に加え、履歴書情報、外国語・資格などを登録可能。こうした情報は、後でポートフォリオページを編集する際に「ブロック」として呼び出すことができます。



③ 例えば研究内容やユニーク情報として幼少期からの「過去のエピソード」などを保存、常にアップデートしておくことができます。



自動連携している情報が古い、もしくは誤っている場合はMyPortfolioトップページの「お問合せフォーム」へ！

Making Use of the Employment Support Function

就活支援機能の活用



就職活動支援をクリック

① コンテンツタブの一覧から「就職活動支援」を選択。展開した画面で利用する外部サービス名をクリックします。

利用する外部サービス名をクリック



アクセストークンを入力

② 利用する外部サービスで発行されたアクセストークンを枠内に入力し、下部の「保存」をクリックします(未登録の場合は新規登録してください)。



連携したい項目をチェック

クリックして同期する

③ 連携したいプロフィール項目にチェックをつけましょう。チェックが済んだら下部の「同期する」をクリックして同期します。リンクをクリックして外部サービスでの表示確認も可能です。

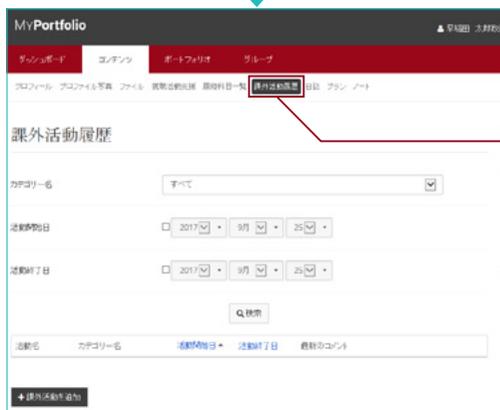


就職活動用サイトと連携し、あなたのプロフィールを同期することができます(※就職活動用サイトは外部サービスです。アカウントの登録や情報の公開については自己責任でお願いします)。

Auto-acquisition of Courses Taken and Extracurricular Activities 履修科目一覧、課外活動履歴の自動取得



① コンテンツタブの一覧から「履修科目一覧」をクリックします。履修科目は年度別に分けて表示されます。履修年度、科目名などをリストで管理できるので便利です。ここでは、大学に登録されたデータを自動取得します。



② 課外活動も履修科目欄同様に一覧表示されます。

課外活動履歴をクリック



③ 学外の課外活動は自分で登録できます。活動名やカテゴリ名、期間などを入力し、保存すれば課外活動一覧で管理することができます。



自動連携している情報が古い、もしくは誤っている場合はMyPortfolioトップページの「お問合せフォーム」へ！

Keeping Journals 日誌の記録・保存



① コンテンツタブの一覧から「日誌」をクリックします。その後、「日誌を作成する」をクリックします。

日誌を作成するをクリック



② 「新しい日誌：日誌設定」の画面に移動します。「タイトル」と「説明」に文章を入力して、下部の「日誌を作成する」をクリックします。

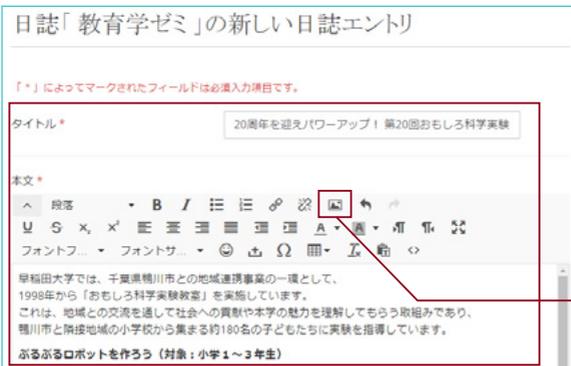
タイトルと説明に文章を入力

日誌を作成するをクリック



③ これで日誌の枠組みが完成しました。日々の出来事をブログのように手軽に記録できる機能です。個々の日誌を登録するには下部の「新しいエントリ」をクリックします(次ページに続きます)。

新しいエントリをクリック



④「新しい日誌エントリ」の画面に移動します。「タイトル」と「本文」に文章を入力して日誌の骨格を登録しましょう。画像を登録するには、本文の入力フィールドで画像挿入アイコン(上部枠内右から3つ目)をクリック。

クリックして画像を登録



イメージをクリック

ファイル選択をクリック

⑤「イメージを挿入または選択する」のボックスが現れたら、「イメージ」をクリック。展開した画面で「ファイル選択」をクリックしてアップロードします。



これで画像つき日誌がエントリされました。この状態で画面をスクロールしましょう(次ページに続きます)。



ファイルを追加をクリック

⑥ファイルを添付したい場合は、下部にスクロールして現れた「ファイルを追加する」をクリックします。



ファイル選択をクリック
またはファイルをドロップ

⑦「ファイルをアップロードする」のボックスが現れたら、「ファイル選択」をクリックするか、ファイルを直接枠内にドロップしてアップロードします。



クリックしてエントリを保存

アップロードが完了したら下部の「エントリを保存する」をクリック。これで新しい日誌エントリが保存されました。



下書き/公開は
クリックで変更可能



カテゴリ別に増やすことが可能

ワンポイント

日誌はカテゴリ別に増やすことができます。23ページの手順を参考にして、授業、課外活動など、自分の体験にあったカテゴリを増やしておく記録を簡単に整理できます。

Uploading Files

資料等のアップロード

1 コンテンツタブの一覧から「ファイル」をクリック。「ファイルをアップロードする」のボックスが現れたら、「ファイル選択」をクリックするか、ファイルを直接枠内にドロップしてアップロードします。ファイルの種類は文書、画像、動画などマルチメディアに対応しています。

2 アップロードの完了は上部のメッセージで確認できます。アップロードしたファイルは下部に自動で一覧表示されます。また、ファイルをまとめるフォルダも作成できます。

また、フォルダ作成も可能
ファイル一覧を表示

クラウドストレージ「Box」も活用しよう



MyWASEDAホーム > オンラインストレージ > Boxをクリックしてみましょう。データサイズの大きい動画や画像の保存にはBoxを活用するなど、MyPortfolioと上手に使い分けましょう。

Setting Goals

目標の設定

1 コンテンツタブの一覧から「プラン」をクリック。展開した画面で「新しいプラン」をクリックします。

2 「タイトル」と「説明」に文章を入力して、下部の「プランを保存する」をクリックします。

3 これで新しいプランが保存されました。続けて「新しいタスク」をクリックします。

4 新しいタスクの作成画面で「タイトル」「完了予定日」「説明」など必要事項を入力。入力後に下部の「タスクを保存する」をクリックします。保存されたタスクはリストで一元管理できます。

リストでタスクを管理

必要事項を入力

入力後にクリックしてタスクを保存

Creating Your Portfolio Page

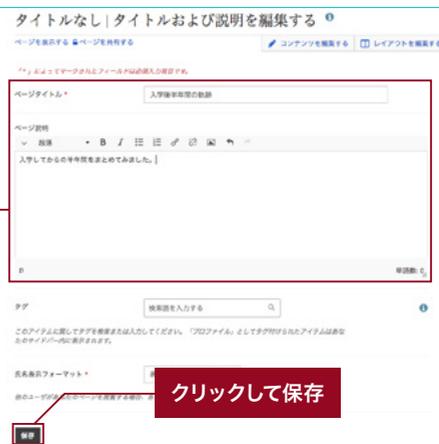
ポートフォリオページの作成



1 ポートフォリオタブの一覧から「ページ」をクリック。展開した画面で「ページを作成する」をクリックします。

ページをクリック

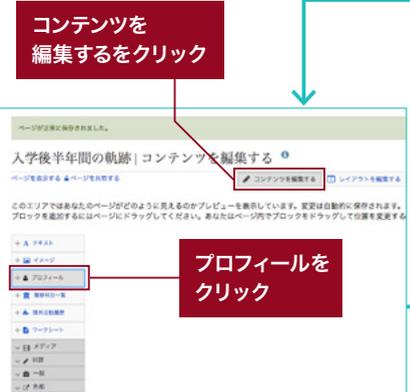
ページを作成するをクリック



2 「ページタイトル」と「ページ説明」に文章を入力して、下部の「保存」をクリックします。

ページタイトルとページ説明を入力

クリックして保存



コンテンツを編集するをクリック

プロフィールをクリック



ポジションを選び、追加をクリック

3 これで新しいページが保存されました。続けて「コンテンツを編集する」をクリックした後、左のリストから「プロフィール」をクリックします。

4 現れたボックスでプロフィール情報のポジションを選び、続いて下部の「追加」をクリックします(次ページに続きます)。



5 プロフィールで表示するフィールドにチェックを入れ、下部の「保存」をクリックします。

表示するフィールドをチェック

クリックして保存

プロフィールが反映された



レイアウトを編集するをクリック



6 これでプロフィールが反映されました。複数のコンテンツをきれいにまとめるため、レイアウトのオプションが用意されています。上部の「レイアウトを編集する」をクリックします。

レイアウトを選ぶ

クリックして保存



7 レイアウトを選び、「保存」をクリックします。

複数のデータを編集した画面

8 レイアウトを選んだ後、登録済みの日誌データを呼び出してみましょ。左にプロフィール、右に日誌と2分割されて見やすく表示されています。これがポートフォリオページ作成の基本ステップです。

Sharing Your Portfolio Page

ポートフォリオページの公開



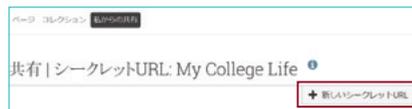
① ポートフォリオタブの一覧から「私からの共有」をクリック。展開した画面で「地球儀のマーク」をクリックします。

地球儀のマークをクリック



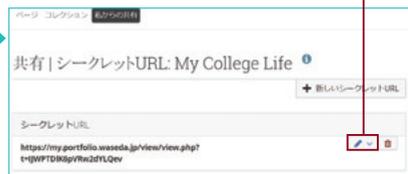
② 「共有する際の注意」の画面で各項目をよく読み、同意すれば全てチェックの上、一番下の「同意する」をクリック。

同意の上、クリック



③ 「+新しいシークレットURL」をクリック。

共有期間を編集できます



④ 先ほど作成したページの共有URLが設定されました。共有期間はページごとに設定できます。



情報を公開する前にP.10も要チェック。

第4章

MyPortfolioの活用例

授業、部活動・サークル活動、留学、インターンシップ・アルバイトの4つの観点から、MyPortfolioの記録を通じて気づくであろうこと、その気づきを得てどう行動するべきかについての一例をあげてみました。



授業の 内容

講義ごと、半期ごと、1年ごと……
自分にあったスタイルを探しながら、授業における
目標設定や振り返りを記録しましょう。

大学では「自ら主体的に学ぶ」ことが求められています。卒業までの単位取得計画を立てることも大切ですが、自らの興味・関心をどう育て、学問につなげていくのか。さまざまな教員、学生、学問そのものとの「出会い」を通して自己研鑽に励むことが大切です。



👉 こんなふうに使えます 👈

初年次に履修した基礎演習でアカデミックリテラシーを学んだ。今後、レポート作成や卒業論文作成時に必要となる大切な知識なので、データとしてファイルで保管しておこう。

Course N@vi (LMS)、Box (クラウド)やRefworks (文献情報管理ツール)などと併用し、学修データを保管できます。プリントや試験結果などの紙媒体は、端末室のスキャナーなどを活用しデータ化すると、一元管理ができるでしょう。

卒業論文の研究計画がうまく進んでいない……どうしよう！ これまでの学修データを自分で整理したうえで、それらをもって振り返り、改めてゼミの先生に相談してみよう。

部活動・ サークル 活動

団体のWebサイトやクラウド、SNSなどで常にあらゆるデータを保管、共有していると思います。しかし、それらを“自分ゴト”に落とし込めていますか。

部活動やサークル等の団体活動においては、自分のことよりも切磋琢磨し合う仲間のことのほうが、記憶に残っているものです。しかしその中で成長している自分の姿を記録しないのはもったいないと思いませんか。ぜひ、些細なことでも記録する習慣をつけましょう。



👉 こんなふうに使えます 👈

試合の写真やとっておきの写真は、印刷や動画編集などに活用する可能性が高い。SNSやクラウドで共有するだけでなく、画素数の多い元データをきちんと保管しておこう。

文書以外にも画像、音声、動画などのデータ保管も可能です。ファイル形式の変換は容易ですし、ポートフォリオページにまとめる際には内容の再配列や編集、統合ができるので、自分自身の記録だけでなく、先輩や後輩への報告、引継ぎにも役立つデータになります。

自分のリーダーシップに自信がなくて、先輩に相談して、いただいたアドバイスの数々。大事なのにぜんぶ忘れた……印象に残った言葉も、案外忘れるのでメモしておこう。

留学の経験

短期・長期にかかわらず、渡航準備や帰国後の報告など、手続きに追われがち。自分のために、かけがえのない留学の経験を記録できていますか。

留学には自分のニーズや条件にあったプログラム選び、語学勉強、資金計画など、入念な準備に加え、強い目的意識を持って臨むことが重要になります。そのぶん、得られるものが大きいはずですから、それらを通して自分がどう成長したのかを記録することも大切です。



👉 こんなふうに使えます 👈

住居をはじめとする生活基盤の整備、大学への申請・報告、奨学金の申請ほかやる事がいっぱい！ 諸手続きをプラン機能で管理し、効率的に準備をすすめよう。

留学先の学修データをBoxやMyPortfolioで一元管理して帰国後も活用できます。ポートフォリオページを公開することで、インターネットを通して友人や保護者に近況報告ができたり、留学を検討している後輩に役立つ情報として活用されることもあるでしょう。

留学先の授業がハード。課題に終始して日々の気づきや達成感など、記録することを疎かにしがち……意識的に留学日誌をつけ、ポートフォリオページにまとめよう。

インターンシップ・アルバイト

多様な人々との協働から学んだことを、キャリアを考える重要な機会にできていますか。

主体的に取り組み、やり抜くことが求められる社会での実践経験。自分のテーマや気づかされたことなど財産になるものがたくさんあるはず。学生の本業は学ぶことから、働くことや仕事に対するイメージを具体化できるよう、記録をしておきましょう。



👉 こんなふうに使えます 👈

短期アルバイトを色々やる予定。その動機や得たことをまとめておこう！面接で話した志望動機や、終了後の感想などを記録し、就職活動のときに役立てよう。

課外活動履歴として、いつどこで、どんな社会参画をしたのか、ログとしてMyPortfolioに記録できます。気づいたり学んだりした点をまとめてポートフォリオページを作成、公開すれば、お世話になった社会人の方からフィードバックをもらうこともできるでしょう。

インターンシップでお世話になった方々に、フィードバックをもらいたい！御礼を伝えるとともに、何を学んだかまとめたポートフォリオも公開してコメントをもらおう。